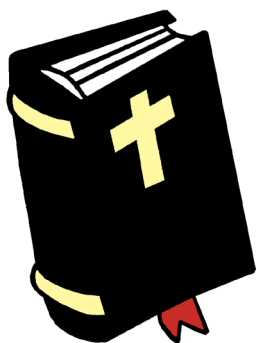




せいしょ どうじょう わかもの しょうねん 聖書に 登場する 若者たち：少年サムエル

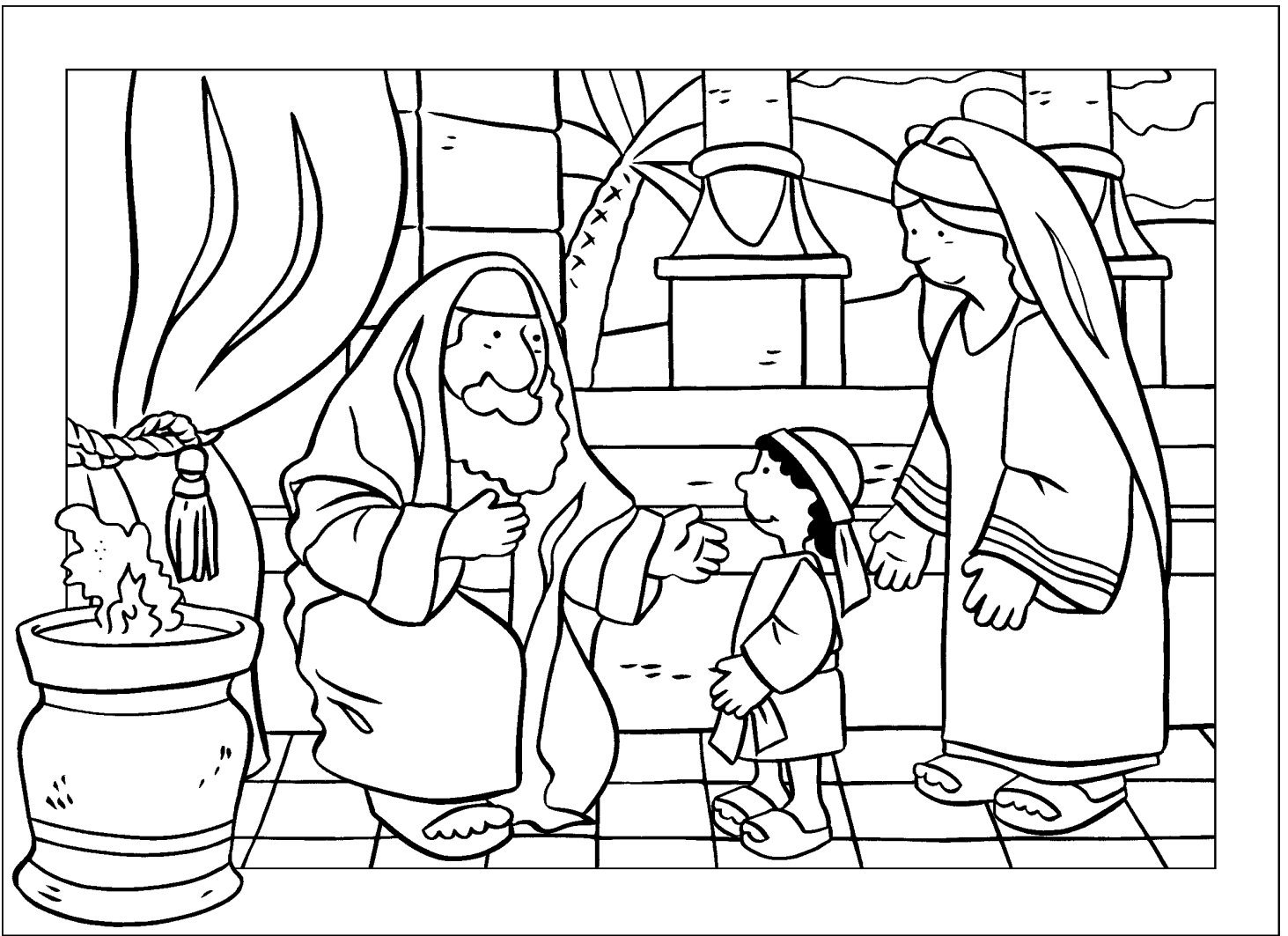
きじょうだい しょう
サムエル記上 第1章より



むかしむかし 昔々、イスラエルに、^{けっこん}結婚はしているけれど ^{こども}子供の ない、ハンナという ^{おんな}女の人 ^{ひと}が いました。ある ^{とき}時、^{しゅ}主の ^{みや}宮で ^{いの}祈りながら、ハンナは ^{かみさま}神様に、もし ^{おとこ}男の子を ^{くだ}下さるなら、その ^こ子が ^{かみさま}神様に ^{つか}仕えるように ^{そだ}育てますと ^{やくそく}約束しました。
^{かみさま}神様は ^{いの}ハンナの ^{いの}祈りに ^{おとこ}応えて、ハンナと ^{おとこ}夫に ^{あか}男の ^{くだ}赤ちゃんを ^{くだ}下さいました。
^{ふたり}二人は ^こその ^{なづ}子を、サムエルと ^{なづ}名付けました。

ハンナは ^{やくそく}約束通り、サムエルが ^{かみさま}神様を ^{あい}愛し、^{かみさま}神様に ^{つか}仕えるように ^{おし}教え ^{そだ}育てました。サムエルが ^{すこ}少し ^{おお}大きくなると、ハンナは ^{くんれん}サムエルを ^{くんれん}訓練のために ^{しゅ}主の ^{みや}宮に ^つ連れて ^い行き、^{さいし}祭司 ^いエリに ^い言いました。「わたしは、^{なんねん}何年か ^{まえ}前に、^{みや}宮で ^{おとこ}男の子を ^{もと}求めて ^{いの}祈っていた ^{もの}者です。^{しゅ}主なる ^{かみ}神は ^{いの}わたしの ^{いの}祈りに ^{こた}応えられました。
ですから ^{おとこ}夫と ^{おとこ}わたしは、サムエルが ^{かみさま}神様に ^{つか}仕えられるよう、^{おし}あなたに ^{おし}教えて ^{ほしい}ほしいのです。」

サムエルは ^{おとな}大人に ^{なると}なると、^{かみさま}神様の ^{いだい}偉大な ^{よげんしゃ}預言者になりました。
^{しょうねん}少年サムエルについての ^{はなし}すばらしい ^{お話}が、サムエル記上の ^{きじょう}第3章 ^{だい}にも ^{しょう}書かれています。^よ読んで ^よみましょう。



せいしょ どうじょう わかもの しょうねん 聖書に 登場する 若者たち：少年サムエル

サムエル記上 第1章より



むかしむかし、イスラエルに、結婚はしているけれど、子供のない、ハンナという女の人がありました。ある時、主の宮で祈りながら、ハンナは神様に、もし男の子を下さるなら、その子が神様に仕えるように育てますと約束しました。神様はハンナの祈りに応えて、ハンナと夫に男の赤ちゃんを下さいました。二人はその子を、サムエルと名付けました。

ハンナは約束通り、サムエルが神様を愛し、神様に仕えるように教え育てました。サムエルが少し大きくなると、ハンナはサムエルを訓練のために主の宮に連れて行き、祭司エリに言いました。「わたしは、何年か前に、宮で男の子を求めて祈っていた者です。主なる神はわたしの祈りに応えられました。ですから夫とわたしは、サムエルが神様に仕えられるよう、あなたに教えてほしいのです。」

サムエルは大人になると、神様の偉大な預言者になりました。少年サムエルについてのすばらしいお話が、サムエル記上の第3章にも書かれています。読んでみましょう。